

(4) 実施状況（過去3年間）

				平成22年度	平成23年度	平成24年度
授業	小学校	大学生	派遣先 学校数	15校	18校	9校
				47校	60校	62校
部活動	中学校	社会人	派遣人数	2校	9校	28校
			派遣人数	35人	28人	22人
	種目数		13種目	11種目	11種目	
	派遣人数		57人	57人	51人	
高校	種目数	23種目	24種目	20種目		

4 成果と課題

【成果】

- ・地域のスポーツ人材が授業に参加することで、複数の指導者による指導体制ができ、多くの児童生徒への指導助言や補助等が可能となり、授業の活性化につながるとともに安全性も高まる。
- ・授業や運動部活動において、専門的な指導内容や方法に教員が触れたり学んだりすることで指導力向上につながる。
- ・放課後や土・日曜日、祝日に行われる運動部活動においては、教員の多忙感の軽減や指導経験の浅い顧問の負担軽減及び、活動の活性化につながる。

【課題】

- ・授業においては、計画された1単位時間の授業に対応しなければならないため、勤務等に支障のない指導者の派遣が必要となり、ニーズに対応できないことがある。また、学校の時間変更等への対応も課題である。
- ・運動部活動においては、各学校から実施状況以上の要請があるが、旅費等の経費面から十分な対応ができておらず、地域スポーツ人材の活用のあり方を検討していく必要がある。



○校長、授業担当者、外部指導者による事前打ち合わせ会
(中学校)



○ストレッチについて外部指導者から指導を受ける。
(中学校)



○外部指導者からの的前の指導を受ける。
(高校)



○外部指導者からバスケットボールの基礎技能の指導を受ける。
(高校)

「地域協育ネット」
推進に係る関連事業